

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(6)小学校

日時 10月24日(水) 午前10時から正午まで

場所 依知南公民館集会室

テーマ1「地域での子育て支援について」

●教育総務部長

近年、共働き世帯や核家族世帯が増え、地域での交流や隣近所のふれあいが少なくなったと言われています。

こういったことを背景に、平成24年に「厚木市子ども育成条例」を策定しました。その条例では、地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になれるよう、目配り声掛けなどを通じて子どもの育ちを支えることの大切さを考えています。地域では、青少年健全育成関係団体や自治会など、様々な活動が盛んに行われています。教育委員会でも、公民館を拠点として地域ぐるみ家庭教育支援を行うなど、地域で子どもを育てるための意識を高める取組も行っています。

また、今年6月から、地域の方が学校の運営に関わっていただくコミュニティスクールを全小中学校で導入しました。運営協議会を中心に、より多くの方に、学校、子どもの授業の支援に関わっていただきたいと考えています。

地域との関係を深め、地域で子育てをしていただきたいのですが、皆様が地域の行事等にどのように参加されているのか、参加されていない場合、どういった理由で参加できないかをお聞きしたいと考えています。

●小学校低学年、年中の子がいます。子ども会に入ってから2年目です。自治会にも入っています。子どもの顔を周りの人たちに覚えてもらい、何かあったら地域の方から情報をいただきたいですし、私の顔も覚えてもらって交流をしていきたいと思ったので自治会に入りました。引っ越したきっかけで、自治会に入ろうと決めていました。子ども会のイベントにも楽しく参加しています。

●教育総務部長

地域の方々に顔を覚えてもらいたいと、明確に考えていられたのですね。

●何かあったときに地域の方々の協力も必要だと感じたので。皆さんあいさつをしてくれますし、いろいろと話してくれます。子どもの顔も覚えてくださって、自治会に入ってから良かったなと感じています。

●市長室長

過去の意見交換会では、自治会の方から勧誘をされた、という話が多かったのですが、自ら探して加入されたという話は初めてですね。

●小学校低学年、幼稚園の子がいます。自治会に入っていません。昨年、マンションに引っ越してきました。周りで自治会に入っている方はほとんどいません。せめて子ども会に入ろうかと考えていましたが、廃止になったそうです。マンションの管理人に自治会の入り方を調べてもらっている状態です。ただ、マンションなので自治会に入る必要はないと言われていました。昔からあるマンションで、高齢者の方が多く、役員の順番が早く回ってくるそうです。子どもは地域の運動会など参加したいと言っています。自治会の入り方が分かりません。

●教育総務部長

基本的には自治会長に連絡を取るような形になります。住んでいられる地域はお子さんが多い所だと思ったのですが、子ども会が廃止になったのですか。

●子どもが多い地域なので、大人数をまとめることが難しく、子ども会をやるのなら小学生の保護者がやるようにと言われているようです。ただ、保護者の方も役員をやりたい人が少ないので廃止になったようです。

●こども未来部長

他の地域の子ども会に参加することもできますので、御検討ください。

●小学校低学年、幼稚園の子がいます。子ども会はありません。引っ越してきて、周りの方と全く関わりがなかったため、何かあった際に困るなど感じ、自治会に入りました。地域で様々な行事が開催されるので、楽しく参加しています。また、子どもたちの顔も地域の方に知っていただけるのですごく良いなと感じています。

●こども未来部長

地域で防災訓練などにも参加されましたか。

●夫が参加しました。夫の地元なので、参加して楽しかったようです。

●中学校、小学校中学年の子がいます。自治会、子ども会は入るのが当たり前とっていました。引っ越してきて、近所の方に自治会の加入方法を教えてもらいました。子ども会も入るものと考えていたのですが、参加している方は少なかったです。子ども会に女の子は集まるのですが、男の子には向かないのか、息子はやめてしまいました。自治会の行事で防災訓練など、参加したいと思っているのですが、若い方が少なく出づらいつも雰囲気です。役員になりましたが、参加したことはありません。

●こども未来部長

地域の方にも顔を覚えてもらえますし、参加賞などいろいろもらえることがありますよ。

●小学校高学年、低学年、年長の子がいます。10年くらい前から自治会に入っています。自治会行事には若い人の参加が少なく、子どもが楽しめない内容になっています。私が子どもの頃は参加して楽しかった思い出がありますが、今は運動会の参加賞が料理用の袋数枚、出されるお弁当は小さく、持ち出しの方が多いです。終わった後の打ち上げは、一部の方が楽しんでいるのかなと思いました。小学生以下はお弁当が出ません。

●こども未来部長

前の意見交換会では、参加賞などいろいろと貰えて楽しいという話が出ていました。ほかではこうですと、提案をしてみてはどうでしょうか。

●市長室長

子どもは楽しいと思わないと参加しないですよ。

●社会教育部長

今年の地域の運動会は、子どもの参加が多いと感じていたのですが。

●市長

子どもたちが出るプログラムはなかったですか。

●鈴割り、パン食い競争、それ以外は出ても特に何もありません。

●中学校、小学校高学年、中学年の子がいます。地域の運動会で出てくるお弁当は、大人も子どもも同じものです。子ども対象のリレーに出ると、子どもたちに参加賞を出してくれます。慰労会は、子ども用の料理やジュースが用意されます。とても手厚くしてくれています。地区によっ

て違うなと思いました。私の自治会だけかもしれません。子ども会加入で会費を支払いますが、元は取れていると感じています。地域の方たちが関わってくれて、感謝しています。見守りボランティア、愛の目運動など、地域の高齢者の方と一緒に参加しています。高齢者の方は、「見守りはやるから、あなたたちは仕事を頑張れよ」と言ってくれます。すごくありがたいです。

●教育総務部長

自治会は、御自身から加入されたのですか。

●自分から加入しました。新しい家が多かったので、入りやすかったです。

●社会教育部長

近所の方も自治会に加入されていますか。

●皆さん加入されています。運動会にもみんなで参加しました。

●小学校高学年、中学年の子どもがいます。自治会に入っていますが、子ども会はありません。仕事をされている方は役員が回ってくると辞めてしまう方が多いです。また、習い事を優先される方が多いので、子ども会は無くなったようです。二つの地域が一つになった住宅密集地で、高齢者の方が多いです。

●こども未来部長

小学校の高学年になると習い事、塾に通っている子が多くなりますよね。

●社会教育部長

回覧板や広報紙の配布など、役員は大変になってしまいますかね。

●地区長になると現金の管理など、人が多いので回収する金額も多く、負担がかかります。

●市長室長

皆さんはPTAの役員を引き受けていただいている方なので、比較的、地域の役員も引き受けることができる、やっていこうと思われる方なのだと思います。

●こども未来部長

私も、交通安全母の会、PTA、子ども会をやってきました。前年と同じ事をしようとするの大変なことがあります。一步踏み出して、取組を工夫したり、変えていく必要があると思います。本日意見交換をした情報を「他の地区はこうだったよ」と、持ち帰って皆さんに伝えていただきたいと思います。私たちが子どもの頃に参加していて楽しかったことを、今度は自分の子どもに返していく番だと思い、私も参加してきました。ただ、できることと、難しいことがありますので、楽しく続けていただきたいと思います。

●教育長

今回参加されている小学校の地域は、学校のことも地域の方が協力してくれるという印象があります。夏祭りや田んぼの稲刈り、餅つきなど。大人も子どもも一緒になって参加してくれています。ただ、取組の内容はずいぶん違うと感じましたので、今日お話しいただいた他校の方の御意見を、PTAなどの中でも情報交換していただければと思います。

テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●学校教育部長

スマートフォン、パソコン、ゲーム機でもインターネットにつながる仕組みがあり、子どもが触れることでトラブルにつながることもあります。つい最近も報道されていましたが、中学生で

は、インターネット依存症が話題になっており、機器が手放せなくなってしまうそうです。また、昼も夜もゲームに夢中になってしまう。通信ゲームで相手がいるのでやめられなくなってしまう。簡単に達成感が味わえることで依存症になってしまいます。スマートフォンはSNS、無料通話アプリのトラブルが多いです。悪口を書かれる、仲間外れにあうなど。メッセージの既読のやり取りや朝起きるとメッセージがたくさん来ていたという話もよく聞きます。保育園・幼稚園といった小さい頃から、動画を視聴されているようで、子どもが自分で見たい動画を検索できるそうです。昔に比べて、小さい頃から機器に触れている機会が多いのだと感じました。大人もゲームに夢中になってしまうことがあります。それを子どもは見ています。今の時代、機器は無くてもならない物となっていますが、子どもが使う場合、どうやって危険から守るのか。皆さんの御家庭では、ゲームをしていたり、動画を視聴されていますか。お子さんの様子をお伺いできればと思います。また、機器を持つ時期が早くなっているように感じます。昔、高校デビューと言われていましたが、中学生あるいは小学生で持ち始める話を聞きます。子どもは「皆持っている」と言うことがあります。もちろん持っていない子もたくさんいます。小学生でキッズ携帯を持たせている場合、いずれはスマートフォンデビューとなります。スマートフォンをいつから持たせるのか、持たせた際、トラブルからどう子どもを守るのか御意見をお伺いしたいです。すでに持たせていられる方は、機器を持たせたきっかけ、持たせたことによる悩み事、約束事、工夫などをお聴きしたいです。

●スマートフォンは持っていません。学校でも話し合いがあり、小学5・6年生になると3分の2が持っているようです。クラスで無料通話アプリのグループを作っていて、メッセージのやり取りが多く、仲間外れなどの問題もあるようです。どう対応するべきか、親が買い与えている物なので、親がしっかりと管理することが大事だと思います。塾に通う子が持っていることが多く、通話だけとか、夜何時まで、といった約束をする必要があると思います。知り合いの方で、子どもがスマートフォンのゲームで遊んでいて、知らずに万単位で課金されていることがあったという話を聞きました。持たせていない人、持たせた人、両方の意見を聞いていますが、私自身管理ができるか心配で、子どもに持たせるなら、中学校の後半くらいになると考えています。

●学校教育部長

子どもから「周りが持っているからと持ちたい」と言われることがあると思います。無料通話アプリは複数人を巻き込みながら、メッセージを返さなくてはならないと、苦しくなっています。親が与えたものは、親が管理することはとっても大事になると思います。課金の問題もあります。初めは無料でも、次に進めたり、アイテムを手に入れるために有料になることがあります。知識を持ってやっていけば良いのですが、初めてだと分からずに課金をしてしまうことがあります。

●小学生の子どもは二人で一台、塾の際に持たせています。ゲームなどは入れていません。今のところ、渡したことによるデメリットはありません。中学生の子は部活が忙しく、機器に触る時間もないせいか、あまり使っていないようです。無料通話アプリなど内容は親がチェックすることと、夜9時以降は使わないように約束していますが、塾が終わるとすでに夜9時を過ぎています。放課後、首から機器をぶら下げて遊んでいる子がいます。皆、機器の重要度が分かっていないようで、ジャグリズムなどをやっています。盗まれたりすると大変だよと話してはいるのですが。ゲーム機と同じ感覚で持っている子が多いです。

●学校教育部長

中学生で機器を持たせている場合、親が内容を確認できるかどうかは大事です。使用状況をチェックできることは良いと思います。中学生の無料通話アプリは、親が内容を確認していないため、送ったメッセージで相手を傷つけることがあり、トラブルが生じます。

●消されたメッセージもあるようで、何があったのか気になることがあります。

●学校教育部長

部活が忙しく使う時間もないようですが、確認することを前提に持たせていることは良いと思います。

●そうですね。与えたときにそうしていたので。見られていることを周りには言えていないかもしれません。

●学校教育部長

誰かが見ていただけるだけでも違います。塾の帰りなど場所が分かりますし、通話もできて、子どもたちを守るために便利な機器ではあります。インターネットやゲームの使用制限をしたり、使い方の約束が上手にできると良いと思います。

●家に固定電話がなく、家で1台スマートフォン、タブレットを使っています。小さい頃から機器に触れさせていて、2台くらい壊されたことがあります。今、スマートフォンを持たせていて、小学校中学年でクラスの10人くらいは持っています。無料通話アプリのお誘いも来ていますが、抜けさせました。また、ご飯、宿題を終わらせて、利用は夜7時までと約束しています。これからは機器を持たずにはいられない時代になると思います。学校でもタブレットで勉強をしているくらいなので。親が怒って、怖さで今以上にできないようにしているのですが、これからは、どうしたらいいのか分かりません。教えてほしいです。

●社会教育部長

資料として「ケータイ、スマホとのかかわり方」を御用意しました。PTAで作ったものですので、是非参考にしてください。

●こども未来部長

学校でも機器の使い方の教室を開催していることは御存知ですか。学校ではあまり怖い話はしていませんが、中古ショップでは契約書なしで、お小遣い程度の金額で買える機種があります。Wi-Fi でいつでもインターネットにつながる環境があるのに制限をかけていない場合、成人向けの動画を見てしまうことがあります。国立久里浜医療センターではネット依存の患者が増えており、中学生も入院しているそうです。依存している子は通常と脳波が違い、症状は麻薬と同じだと言われています。青少年健全育成大会でWebカウンセリングセンターの講師をお呼びし、講演会を開催します。是非話を聞いていただきたいと思います。

●社会教育部長

PTAの家庭教育学級で、講師を呼んで講習会をやっていただくことも良いと思います。

●学校教育部長

機器は便利で、大人でも持たずにはいられません。子どももいずれ機器を持つことになります。何が危険なのか、親がまず知らないといけません。無料通話アプリは相手がいるものですので、PTAなどで話題にしていただき、お互いに情報を共有できると良いと思います。

●中学生の上の子は、小学6年生からスマートフォンを持たせています。6年生で周りの子が持っていたので、持たせました。下の子も友達が何人か持っているので、欲しいと言われましたが

6年生になるまではと考えています。タブレットで動画を視聴しています。我が家は夜9時消灯です。夜9時までにご飯、宿題を終わらせて、その合間にスマートフォンをやる分には良いと言っています。時間までに宿題が終わらなかつたら、次の日は使わないように言っています。

●こども未来部長

部屋に持ちこんでも良いことにしていますか。

●リビングだけの使用にしています。中学生の子はこっそり持って行っているようです。無料通話アプリは入っていますが、くだらないやり取りが多く、グループから抜けられたようです。知らない人とのやり取りをすることがあるようで、テレビで報道されている事件などを教えて、こういうことは信用してはだめだよと、話しています。

●学校教育部長

知らない人とつながることもインターネットの怖さの一つです。普通関わらないと考えていても、動画投稿、写真公開のコメントでつながることがあります。危険とを感じる前に、そういった仕組み、怖さを教えていきたいです。知らないうちに犯罪に巻き込まれていることもあります。中学生のお子さんが小学校6年生でスマートフォンを持たせた際、何か約束はしましたか。

●約束として、宿題はやる、リビングのみの使用、パスワードは親が決める、としています。

●学校教育部長

親が買い与えるものなので、親が管理することは良いと思います。パスワードは親が管理、リビングでも親の目の届くところで使用させることは良いと思います。

●まだ持っていないのですが、子どもが「皆、6年生になると持っているよ。いつ買ってくれるの」と聞いてくるので、どうしようか悩んでいました。私のスマートフォンでゲームをしたり、家族だけで無料通話アプリをすることは良いとしていますが、やりたがります。幼稚園の子はゲームをやりたいがるので、何かのご褒美として与えています。

●学校教育部長

小さい頃から機器に馴染んでいることもあり、タブレット授業も覚えが早いです。小さい子がゲームを上手に操作しているところを見ます。今は動画を声で検索できますし、親がいなくても一人で動画視聴をすることができます。子どもが言う「みんなが持っている」は実際のところは分かりません。

●キッズ携帯は持っています。スマートフォンは周りがどのくらいで持たせるのか知りたいところです。防犯ブザーがランドセルに付いていて外すのが難しいので、遊びに行くときはキッズ携帯を防犯ブザーの代わりとして持たせています。家では私のスマートフォン使わせています。知らないうちに使いこなせています。

●学校教育部長

子どもたちのスマートフォンの操作スキルはすごいです。小さい頃から馴染んでいるからかと思いますが、パスワードを解除してしまうこともあり、心配になることがあります。登下校は防犯ブザーを持たせ、大人の目、地域の目で見守りをしていただけです。それ以外では、キッズ携帯を持たせることで、どこにいるか分かりますし、連絡もできます。子どもを守るために、そういった機器は必要な物だとも思います。

●スマートフォンは持たせていません。私がゲームをやっていると、子どもたちが後ろからじっと見えています。料理していて煮込んでいる間など、機器をいじっていると後ろで見えています。子どもに機器を持たせたら依存してしまうのではと思いつつ、私自身、高校生の時に勝手に携帯電

話を契約した経過があるので、持たせるのは中学生くらいかなと思っています。まずはキッズ携帯かなと考えていますが、いずれいらなくなるものなので、古くなった機器を子どもに持たせるか。いつ何を持たせるのかは話し合っているところです。

●学校教育部長

キッズ携帯から、親のいらなくなった機器を子どもに持たせる話はよく聞きます。大人でもゲームは楽しいですし、子どもだけ我慢しなさいと言うことは難しいかと思います。最初の持たせ方、ルール作りが大切になります。機器は便利な物であります、子どもたちに機器を持たせる場合、依存であったり、様々なトラブルや危険と隣り合わせであることを知る必要があります。大人がどういう危険があるのかを十分知って、子どもに与えるときに教えることが必要だと思えます。

●教育長

機器の扱いについて、大人はメリットとデメリットを知っているようで、詳しくは知りません。小学校では携帯電話・スマートフォンの教室を始めています。学校だよりなどで教室の案内がありましたら、子どもと一緒に保護者も参加をして、勉強することも大事だと思います。

●こども未来部長

大人が楽しくゲームや無料通話アプリをしている様子を、子どもたちは見えています。機器の使い方など、皆さんが子どもに見本を示しています。連絡手段など便利な機器として使用することは良いと思いますが、大人がそれ以外の物として使用している姿を見て、子どもは欲しがるのではないのでしょうか。以前の意見交換会では、お子さんに公衆電話の使い方を教えているという保護者の方がいられました。キッズ携帯を持たせてはいるけれども、無くしてしまった場合の対策として、小銭と電話番号のメモを持たせているそうです。そういった見守り方もありますので参考にさせていただけたらと思います。

●市長

新しいお話を聞かせていただきました。大変参考になりました。家庭によって状況も違うので、スマートフォンの持たせ方に一つの答えはないと思いますが、家族の話し合いが鍵となります。我々が大人になって持ち始めた情報機器を、子どもたちは小さい頃から持ち始めようとしています。インターネットなど他者とつながり事件に巻き込まれることもあります。便利で楽しいことだけでなく、危ないことがあることを認識して、子どもに持たせるか判断をしてください。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。